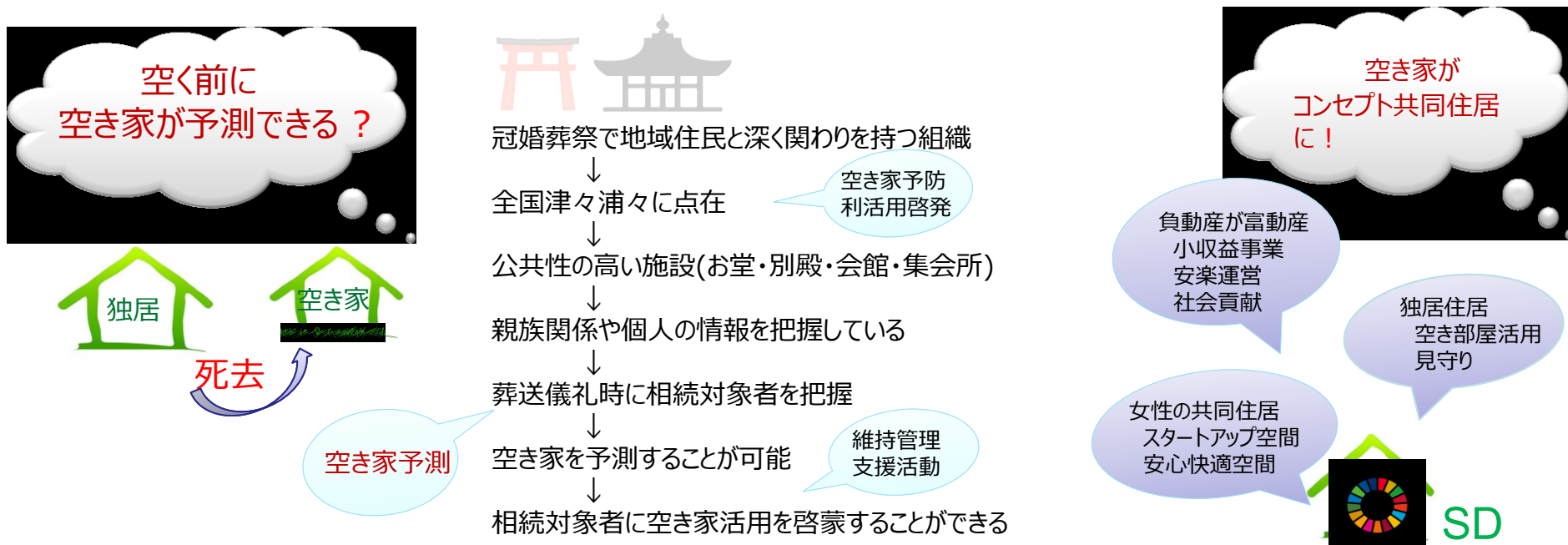


持続可能な空き家転活用 コンセプト型共同住居<お家より、おうち>プロジェクト

(高野山真言宗大師教会和歌山教区三密教会)

課題	・空き家発生要因は地域特性に依ることなど多岐に亘る。画一的な対策では効果が得られ難い。 ・地域に適した小規模空き家活用に関して、持続的に実施可能な参考運用事例が現状では少ない。 ・空き家発生の個々の事例について、当該空き家関係者以外には予測することが難しい。
目的	・個人による空き家活用を事業化するための取組事例と小規模事業のノウハウを提供する。 ・地域における空き家の発生を予測し活用するためのシステムを確立する。
取組内容	・少子高齢化の進行したニュータウン街区の戸建て住宅の空き家を<女性の理念共有型共同住宅>として活用・運用。これを通じて得られた知見を基に、個人で事業化しうるプランを提示する。 ・全国の宗教法人が空き家の発生を予測空き家の活用を啓発・普及する機関として組織化する。
成果	啓発活動のための資料としてパンフレット等の各種資料を作成し、印刷物・WEBデータを提供する。 ・『お家より、おうち』(移住促進リーフレット) ・『ほったらかさない〜』(SDGsコンセプト型共同住居運用手順書) ・『誰でもどこでも いつでも、3つのできる 〜負動産から富動産へ〜』(空き家・空き部屋活用推進チラシ) ・『駆ける 〜支えられる から 支える存在へ〜』(宗教法人向け空き家予測のマニュアル)



全国各地に点在するの宗教法人が空き家対策の担い手に！

個人で空き家活用！小規模事業化できる！Gs